

お知らせ

慢性肝疾患関連遺伝子研究へ参加いただいた患者さんへ

平成14年2月1日から平成26年6月30日までに広島大学病院にて「慢性肝疾患関連遺伝子研究」へ参加いただいた患者さんが対象です。

時代の進歩に伴い、本研究では、次世代シーケンサーを用いて全ゲノムの解析を行うことになりました。全ゲノム解析とは、提供していただいた試料を用いてゲノム全体の塩基配列を調べることです。超高速に塩基配列情報を得ることができる次世代シーケンサーと呼ばれる装置を用いることで、一度にほぼすべてのゲノムの塩基配列を調べることが可能になりました。これにより、ゲノム全体から病気の原因となる遺伝子を探っていきます。

ただし、全ゲノムを調べるため、この研究で目的とする慢性肝疾患と関連する遺伝子変異が明らかになるだけでなく、今はまだ罹っていない別の疾患を引き起こす遺伝子の異常が偶然に判ってしまうこともあります。したがって、遺伝情報の漏洩がおきた場合、就職や結婚、妊娠、保険における不利益など倫理的、社会的問題の生じる可能性があります。さらに将来、この解析データが個人を特定しうるものになる可能性も否定はできません。

このため、本研究により得られたデータが外部に漏洩することのないよう、格段の配慮を行います。また、今回得られた解析結果は本研究にのみ使用し、他の研究には使いません。ただし、提供者の同意が得られる場合には、慢性肝疾患に関連した他の研究などに利用させていただきます。その場合には、改めて倫理委員会の承認を受けた上で使用します。

上記内容に同意されない場合、あるいはもっと詳しく知りたいときや、わからないこと、心配なことがありましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。

同意されない場合でも、その後の診療に不利益を受けることは、一切ありません。

広島大学病院 電話：082-257-5190

研究責任者：消化器・代謝内科 教授 氏名 茶山 一彰

研究分担者：総合医療研究推進センター 診療准教授 氏名 中原 隆志

研究課題名	慢性肝疾患関連遺伝子研究		
研究責任者名	病院	消化器・代謝内科	教授 茶山 一彰
研究期間	2002年 2月(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日		
対象者	2002年2月～2019年6月に消化器・代謝内科を受診され、『慢性肝疾患関連遺伝子研究』において血液保存に同意をいただいている患者さん。		
意義・目的	<p>慢性肝疾患は、肝硬変、肝臓癌に進行しうる疾患であり、年間3万人以上が死亡しています。慢性肝疾患の原因はB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスといったウイルス感染による疾患や、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変といった病気は遺伝的な素因によって起こるものなど多岐にわたっています。しかしながらそれらの発症・病像の進展の原因は依然不明なままであり、原因に即した治療法・予防法の確立が急がれています。</p> <p>本研究では慢性肝疾患の遺伝性要素を検出し、病態解明・治療法の開発を目指します。</p>		
方法	<p>本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。診療時に提供いただいた血液より、血液中の白血球やリンパ球に含まれるDNAという物質を取り出し、これを調べます。試料の運搬、DNAの抽出は民間の会社に委託して行います。慢性肝疾患の発症や進展に関係する可能性のある、数多くの遺伝子を調べることとなります。また慢性肝疾患の状態を知るために、診療記録を参照させていただくことがあります。なお、これらの情報は誰のものかは分からないようにして解析を行います。</p> <p>この度、これまでの共同研究機関に加え、情報等は名前などがわからないようにした上で、International Liver Cancer Epidemiology Consortium (U.S.A)へも提供し慢性肝疾患と関連する遺伝子の解析を行うこととなりました。International Liver Cancer Epidemiology Consortium (U.S.A)へは適切に管理されたweb上にてデータを登録します。</p>		
今回追加された共同研究機関	<p>International Liver Cancer Epidemiology Consortium (U.S.A) 責任者： Hashem B. El-Serag, M.D., M.P.H</p>		
試料・情報の管理責任者	病院	消化器・代謝内科	教授 茶山 一彰
個人情報保護について	<p>本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>拒否の機会を保障できる場合のみ記載：研究に資料を提供したくない場合は以下の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。</p>		
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰 Tel : 082-257-5190 E-mail : chayama@mba.ocn.ne.jp</p>		